

仙台総合ビジネス公務員専門学校
令和 8 年度 教育課程編成委員会 議事録

1. 日時 令和 8 年 8 月 3 日（月） 13：00～
2. 場所 仙台総合ビジネス公務員専門学校 503 教室
3. 出席者

(1) 教育課程編成委員

	事業所名	氏名	出欠
1	菅原章博税理士事務所	関口 秀之 様	出席
2	株式会社うえだ	上田 佳子 様	出席
3	合資会社みどりやフローリスト	日下 将行 様	出席
4	株式会社セノン	成田 理恵 様	出席

(2) 仙台総合ビジネス公務員専門学校

	学科・役職名	氏名	出欠
1	副校長	佐藤 浩之	出席
2	総合ビジネス科 学科長	熊倉 正浩	出席
3	フラワー科 学科長	佐藤 僚	出席
4	ファッションビジネス科 主任	佐藤 結衣	出席
5	フラワー科	伊藤 紫穂	出席

4. 会議次第

- (1) 開会
- (2) 開会のあいさつ 副校長：佐藤 浩之
- (3) 委員紹介
- (4) 議長選出 議 長：熊倉 正浩
- (5) 協議
 1. 全体報告
 2. 提言・意見交換
 3. その他
- (6) 閉会のあいさつ 副校長：佐藤 浩之
- (7) 閉会

令和7年度自己評価結果とご意見に対する対応

自己評価報告について説明をし、各委員からの意見をいただいた内容は以下の通りです。
なお、【 】は自己評価報告の項目となります。

【教育理念・目標】

理念や学校教育目標をすべての教職員が理解し、知識・技術だけではなく「自己学習能力を持つ社会人」として必要な基本様式を身につけることを目標として心がけている。

これからの社会のニーズに適した実践的な職業人の養成機関であることの認知度を上げるためにも今まで以上に企業との連携を図り、ニーズを把握し、社会で必要とされている最新技術等をカリキュラムに取り入れることで、教育の質の向上へ繋げる必要がある。また、学生保護者に対して、高校訪問、出張授業やオープンキャンパスのみならず、Web サイトや SNS 等を利用して地道に学校の学習分野を分かりやすく知らしめる努力が継続的に必要であり、社会のニーズに合わせた学科編成等の提案も今後必要となる。

【学校運営】

学園運営会議が運営方針を策定し、業務規定により各種制度はしっかり整備されており、議事録も教職員が自由に閲覧できるよう徹底されている。また、令和8年度より、情報システム化による業務の効率化を目的に、新システム「S-Wing」の導入を開始。事務負担の軽減、学生管理の一元化を図る。

【教育活動】

教育目標や教育人材像に基づいて、毎年、教育課程編成員会でカリキュラムやシラバスの検討・評価を行っている。業務に関する研修や一部の分野の研修には積極的に派遣しているが、関連分野の先端的な知識・技能等の研修に関しては引き続き力を入れていく。また、学生を指導していくうえで教員の確保は継続的な課題となっている。学生の多様性を尊重していく上で、メンタルヘルス等の研修参加にも引き続き取り組んでいく。

【学習成果】

クラス担任が中心となり個人面談などで個々の状況を常に把握し、学生課、菅原学園キャリアサポートセンターと協力しながら就職率・資格取得率の向上に取り組んでいる。退学率については、目標である5%以内を維持することはできなかったが、少しずつ減らすことができていますので引き続き、学生や保護者とのコミュニケーションを取りながら、また、スクールカウンセラーとも連携し、退学率低減に努めていく。

卒業生と定期的に連絡を取り、現場での状況を把握し意見を取り入れる。また実習先や就職先に対して企業訪問など実施し関係性を深め、学生への指導や改善に努め、教育活動の仕組みを構築する。

⇒スクールカウンセラーで良くなったケースはあるのか、という質問をいただいた。

これに対し、根本的な解決はやはり難しい。自信をつけてもらうことを目的としているため、前向きになる学生は少なからずいることを伝えた。

【学生支援】

少人数制の利点を活かして、学生の入学から卒業までの支援を担当が中心となり行っている。ただし、学生の多様化により担任業務が増大し、求められるスキルも増えている。Webを用いた説明会・面接が増加したため、キャリアサポートと連携しながら時代に沿った対応・指導行っている。担任だけでなく各部署との連携を強め、一人ひとりの課題（基礎学力不足・学習障害・経済状況等）を明確にして、対応できる支援体制の運用をしっかりと行う。また、卒業生とのやり取りも、学校全体・学園全体で動けるようにしていくことが必要。

⇒卒業生への支援体制は具体的にどのようなことを行っているのか、質問をいただいた。

これに対し、現状は卒業後、連絡・相談しに来た学生への対応を基本的に行っている。退職した卒業生に対し、再就職の斡旋を個別に支援している。将来的には、担任個人だけでなく、学園全体で同窓会ネットワークを利用していきたい、と回答。退職してしまったとしてもその業界の知識を持っていて、働いたことがある人材は貴重なので、学校に再就職の斡旋をしてほしい企業に対するネットワークもあって良いのでは、とご意見をいただいた。

【教育環境】

避難訓練を行い、連絡網や備蓄について再検討が必要である。また、防災体制の確認と見直しを図り周知徹底を行う。

⇒防災の面はどうやったらもっとよくなると考えているのか、質問をいただいた。

これに対し、避難訓練への取り組みや防災備蓄品（水・乾パンのような非常食）を準備したいと考えている、と回答。

【学生の受入募集】

入学相談室を中心に学校外の広報活動として進路ガイダンス、模擬授業、会場ガイダンスなどを実施している。学校内の広報活動としては、オープンキャンパス、個別相談会を行っている。その他にも、来校不要な Zoom による個別相談会、LINE による個別トークを実施。

【財務】

職業実践専門課程の一部として学園の HP 上で財政状況を公開している。

【法令の遵守】

法令・設置基準の遵守と適正な運営を行っている。
自己評価結果はホームページ上で公開している。

【社会貢献・地域貢献】

学生の授業の一環として販売実習も兼ねて、学科の特色を生かした商品を提案し安価で地域の方に提供している。また、周辺の公園の清掃にも積極的に参加している。